

令和6年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特6		学校名	県立水戸特別支援学校								学校長名	高山 忠昌					
副校長名	松浦 紀子				教頭名	勝二 あすか				事務(室)長名	炭田 幸宏							
教職員数	教諭	127	養護教諭	2	常勤講師	18	非常勤講師	1	実習助手	2	寄宿舎指導員	16	事務職員	4	技術職員等	29	計	199
幼児・児童・生徒数	部	1年(3歳児)		2年(4歳児)		3年(5歳児)		4年		5年		6年		合計		合計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	クラス数		
	幼稚部																	
	小学部	6	5	8	6	3	6	6	6	4	7	6	5	33	35	25		
	中学部	13	1	4	6	14	9							31	16	17		
	高等部	9	10	15	9	10	6							34	25	20		
	専攻科																	
													計	98	76	62		

2 目指す学校像

- ◆一人一人を尊重し、笑顔で学べる学校
- ◆安心して挑戦できる学校
- ◆保護者・地域に信頼される学校

3 現状分析と課題(数量的な分析を含む)

項目	現状分析	課題
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・各部や校務分掌部等において目標を設定し、達成するための手立てを考えながら進めている。 ・個々が働き方について意識し、業務内容を見直している。大胆な業務削減には至っていないが、児童生徒に関する話し合い等の時間の確保をめざしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各分掌部間の連携や学年、学部全体での課題等の情報共有と課題解決。 ・作成文書、保管文書等の見直しと不要な書類の洗い出しによる働き方改革。

学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に基づき、「主体的」「対話的」な学びを心掛けながら、授業づくりを進めている。 ・重度重複障害のある児童生徒の実態把握の方法については、選択肢が広がってきている。 ・体験的な活動には、学年ごとに工夫をしながら取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が、課題に対し主体的に取り組む力を育むための支援方法や指導方法の探求と授業づくり。 ・重度重複障害のある児童生徒への ICT 機器を使った実態把握と学習方法の習得。
------	--	--

4 中期的目標

<p>「次世代を担う児童生徒」の育成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自分の思いや考えを「話す」「伝える」「表現する」児童生徒 2 お互いを尊重し、理解し合うことのできる児童生徒 3 自分の考えや思いを行動として表現することができる児童生徒
--

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 学習活動等	<ol style="list-style-type: none"> ① 自己表現力を高める授業実践〈授業改善研修・学校研究との連動〉 <ul style="list-style-type: none"> ・対話を意識した授業作り ・ICTを活用した授業作り ・地域資源を活用した授業作り（CSとの連動） ・交流及び共同学習の充実 ・体育的・芸術的活動の充実 ② 教科指導等の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・教科等の指導と関連した自立活動の指導の充実 ・3観点による学習評価等の充実
2 安心安全な学校	<ol style="list-style-type: none"> ③ 児童生徒・保護者等との信頼関係に基づく学級・学年経営 <ul style="list-style-type: none"> ・安心して学べる環境作り ・学校事故等の未然防止 ・安全な医療的ケアの実施 ④ いじめや不登校の早期発見・解決に向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの実施やいじめ対策委員会の充実等 ⑤ 地域や関係機関との連携した防災体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・学校防災連絡会議の活用と充実等

3 地域連携	⑥ コミュニティ・スクールの活用・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・活動の継続と見直し ・子供の願いの実現化 ⑦ PTA と連携した地域活動の推進 ⑧ 情報発信の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・HP の充実、PTA や CS と連携した情報発信の工夫
4 センターの機能	⑨ センターの機能 <ul style="list-style-type: none"> ・自立活動の視点からの助言・援助 ・適切な学びの場の検討に向けた助言
5 学び続ける教師	⑩ 専門性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・自立活動の指導力 ⑪ 主体的・対話的で深い学びの実践力 <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善研修等の実施
6 働き方改革	⑫ 子供のための時間作り <ul style="list-style-type: none"> ・業務内容の見直し及び改善の実施 ⑬ 心理的安全性のある職場環境作り <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスの推進